

ブロッコリー

推進理由

- 初期投資額が少なく済み、栽培管理が比較的容易で新規に導入しやすい品目です。
- 軽労働のため女性や高齢者でも取り組みやすく、生産組織・法人の人材活用に適しています。
- えだまめの後作として作付けすることで、ほ場の有効活用・所得向上につながります。
- JAの共選共販体勢が整っており、出荷調整の負担軽減・有利販売が期待できます。

栽培適地はどんなところ？

- 通気性、保水性があり有機質に富む土壌を好みます。（最適pH：5.5～6.5）
- 水田転換畑では、特に排水対策が重要です。必要により高畦栽培してください。
- 花らいの形成・発育には冷涼な気候が適しています。



こんな農家におすすめです！

区分	水稲中心農家	園芸複合農家	生産組織・法人	女性・高齢者	定年退職者
導入適性	◎	○	◎	○	○
作付けの目安	2～3人で25～50 a	他品目との競合程度による	4～6人で50～100a	1人で10a	1人で10a
その他	・ブロッコリーは収穫・調整に多くの時間がかかります。 ・大面積で作付けするには品種の組み合わせが欠かせません。収穫時期をずらし労力を分散させましょう。				
◎：特におすすめ、○：おすすめ					

作型

（平坦地：えだまめ後作の例）

月		7月			8月			9月			10月			11月				
		旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
主な作業	ピクセルおはよう		●			▲												
				●			▲											
					●			▲										
						●												
	グラドーム																●	

は種 (7月 中旬)
定植 (8月 中旬)
追肥、防除 (8月 下旬 - 9月 中旬)
収穫 (10月 中旬)
収穫 (10月 下旬)
収穫 (11月 中旬)
収穫 (11月 下旬)

上手に栽培するポイント

- 育苗は雨よけハウス内で行います。パイプとコンクリートブロックを利用して棚をつくり、その上にセルトレイを乗せて育苗します。
- 高温期の育苗となるため状況に応じて、遮光の実施・通気性の改善、かん水量の調整を行い、発芽率の向上、健苗育成に努めます。
- 定植時にほ場が乾燥している場合は、植え穴にたっぷりかん水してから定植し、活着を促します。
- 定植から約2週間後に追肥し、出蕾前に十分な生育量を確保します。追肥と同時に中耕・土寄せを行うと雑草の発生が抑えられ、倒伏しにくくなります。
- 秋雨期の病害対策、害虫対策のため、出蕾前からの定期防除を実施します。
- 収穫が遅れると品質が低下します。ほ場をこまめに見回り適期に収穫しましょう。

導入上の留意点

- 規格をそろえるためには、10a程度の面積を栽培する必要があります。
- 水田転換畑では、周囲明きよの設置・高うね栽培とし、湿害対策を行います。
- 8月中旬定植では定植後の乾燥・生育不良が問題となるため、かん水が可能なほ場を選定したり、スプリンクラーなどの設備を用意すると、生産が安定します。